

平成24年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：超高エネルギーガンマ線のオーストラリアにおける研究
英文：Study of Very-High-Energy Gamma Rays in Australia

研究代表者 吉越貴紀（東京大学宇宙線研究所）
参加研究者 木舟正、榎本良治、大石理子（東京大学宇宙線研究所）
森正樹（立命館大学理工学部）
谷森達、窪秀利（京都大学理学部）
郡司修一、門叶冬樹（山形大学理学部）
柳田昭平、吉田龍生、片桐秀明（茨城大学理学部）
松原豊（名古屋大学太陽地球環境研究所）
水本好彦（自然科学研究機構国立天文台）
内藤統也、原敏（山梨学院大学経営情報学部）
河内明子（東海大学理学部）
株木重人（東海大学医学部付属病院）
梶野文義、村木綏（甲南大学理工学部）
村石浩（北里大学医療衛生学部）
中森健之（早稲田大学先進理工学部）
木内隆太（高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所）

研究成果概要

平成15年度末にオーストラリア・ウーメラ近郊において完成した10m口径解像型大気チェレンコフ望遠鏡4基のステレオ観測システム（CANGAROO-III：下図）により、CANGAROOチームは南天TeVガンマ線天体の観測を継続的に行ってきた。しかし、観測装置の劣化が進み、この分野での国際競争力を維持するのが困難となったため、平成23年度をもってCANGAROO-IIIの観測を終了した。本年度は観測サイトにおいて観測装置および施設の撤去を完了し、CANGAROOの20年間の活動をまとめた論文の執筆を開始した。また、CANGAROOの成果を振り返る小研究会の開催を企画している。



整理番号